

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Wonder		
○保護者評価実施期間	R.8年 1月 26日		～ R.8年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	R.8年 1月 26日		～ R.8年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R.8年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所のすぐ近くに公園があり、天気がよい時にはすぐに外遊びで発散したり、外での集団活動などを計画しやすい。	・天気がいい時には近隣の公園や庭のブランコを利用することで利用児童が定員数になっても活動スペースが狭くなりすぎないように工夫しています。	・活動のタイミングやグループの人数を色々考慮することで、雨等で公園が使えない時などにも活動がスムーズに行えるように工夫していく。
2	・元教員や保育士だけでなく、放デイ経験職員、B型作業所や生活介護の入所施設などの元職員が勤務しており、それぞれの経験やスキルを生かして日々の支援にあたれている。	週に1回MTG全職員で行うことで、支援に関して様々な意見交換を行っている。チームで支援する意識を強く持って、日々の支援にあたっている。	外部の理学療法士や、専門家などに支援に関して意見を求めたり、研修を行ってもらったりすることにより、職員のスキルを高めたり、児童の成長のための取り組みを行っていく。
3	・夕食提供の機会があり、保護者との連携や、情報交換の機会が他事業所より多く設定できている。	夕食提供時には、無理のない範囲で保護者や兄弟などの参加を促すことにより、本人だけでなく、兄弟の相談も積極的に受けている。	夕食に参加して下さる児童、保護者が固定化されてきているため、参加していない児童や保護者に声掛けを行い、様々な保護者より深く関わる機会を設定していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・天気が悪い時に隣の公園などが利用できないとその日の児童数によっては活動のスペースが少し狭くなってしまふ。	事業所内の部屋数などのハード面や、室内で過ごす活動内容など。	ハード面に関しては大きな改善は難しいが、活動内容を工夫したり、状況によっては事務室を使用したりすることで、手狭さを改善できたらと考えている。また、活動の順番やグループを考慮したりすることで使用する部屋を限定したり、一つの部屋に集まりすぎないように調整していくことも取り組んでいく。
2			
3			